



幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL 0480-43-8988
FAX 0480-77-4347
E-mail
mirai@honda-yoko.com



牽せの手

(4/1現在)

	生活保護世帯数	保護費
平成20年	201 (世帯)	5億1790万1020円
" 21年	230 "	5億8840万4311円
" 22年	303 "	7億8115万5787円
" 23年	358 "	8億9881万0263円
" 24年	420 "	10億5763万6000円

★5年間の幸手市における生活保護世帯数と保護費の総額

資産や能力等すべてを活用してもなお、生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する制度です。(支給される保護費は、地域や世帯の状況によって異なります)

■生活保護制度とは…

生活保護費、5年で2倍以上
期待する自立支援の対策は？

—平成25年第2回幸手市議会—

よつぐんの一般質問報告

決算見込/単位:世帯

	高齢者世帯	母子世帯	傷病者世帯	障がい者世帯	その他	合計
平成20年	110	11	39	30	11	201
" 21年	123	11	49	30	17	230
" 22年	149	17	76	30	31	303
" 23年	171	19	84	35	49	358
" 24年	200	25	90	40	65	420

★5年間の世帯類型別の生活保護世帯数

★保護費の中の医療補助と介護補助の割合

医療補助 5億2328万2035円
介護補助 2億643万2232円
保護費の49.5% 保護費の2.5%

★生活保護者の自立支援について

県のアスポート事業の成果として、平成24年度12人を支援事業対象とし、職業訓練学校へ入学が6人、ハローワーク動向の支援で4人が就労に結びつく。国の動向を見ながら、積極的に自立支援を考えて行きたい。

私は思う

世間をにぎわす生活保護費の不正受給者、ごく一部の心ない人のことで、どれほど肩身の狭い思いをなされていることか。いろいろな状況の中で、家に閉じこもらず、社会との接点が必要で。例えば、みんなで草取りをしようという作業でも、健康や就労前の環境作り等意味があるのでは。

子どもの安全のネットワークを!

答 一定程度の情報共有にネットワークは必要だろうと考える。

私は思う

2年越しの再質問でした。せめて、子どもの安全に係わる方々の連絡協議会開催と、子ども110番の家(約700カ所)も含んだ方々に会報配布を望みます。

幸手市総合振興計画に、議員の意見を言える場を!

答 計画・策定段階に、議会へ説明・報告を行うことを含め、意見を伺う機会を設定して参りたい。

お陰さまで

現在、香日向の防災専門部で活動しています。そして、日頃より自主防災の大切さを痛感しています。

さて、6月末に「防災士」の研修及び試験を受け、お陰さまで合格致しました。防災士とは、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有するものとして、NPO法人日本防災士機構が認定した人たちです。

6月末日現在の日本防災士会会員は、5803人。そのうち埼玉県は299人で幸手市では1人です。

また、自主防災組織率は埼玉県全市で下から2番目の49.3%です。25年4月1日現在課題はたくさんありますが、目指すは、防災に強いまちづくりです。先は出来る事から活動して行きます。

昨年引き続き

全国市議会議長会研究フォーラム参加



開催日

平成25年7月10日～11日

場所 ・ 旭川市民文化会館

主催 ・ 全国市議会議長会

・ 総務省

《1日目》

第一部 基調講演

「地方議会改革」西尾 勝氏

第二部 パネルディスカッション

「住民自治の実現と

地方議会への期待」

宮脇 淳 氏・片木 淳氏

大山 礼子氏・人羅 格氏

三井 幸雄氏

第三部 意見交換会

《2日目》

第四部 課題討議

「政務活動費を考える」

第五部 視察 稚内市

「新エネルギーの最前線」

全国の市議会議長や議員が約2300人、この旭川に集まりました。

地方議会のあり方や、議会力をアップさせる政務活動費など、興味深い話でした。

また、全国の議員の「輪」ができることや、その土地の視察など、議員として貴重な時間をいただきました。



旭川シンボルキャラクター「あさっぴー」

7月12日、稚内市

「新エネルギーの最前線」

視察研修

* 稚内メガソーラー発電所



平成18年から独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の実証研究施設として整備され、23年稚内市が施設の無償譲渡を受け維持管理している。面積は東京ドームの約3個分です。

* 宗谷岬ウインドファーム



日本最北端の宗谷丘陵の約1500haの牧草地にある風力発電所。出力1000kwの風力発電機が57基設置され、稚内市の年間消費電力の約7割に相当する電力を発電している。

左写真が氷雪の門です。北海道稚内市の稚内公園にある、かつて日本領土だった樺太で亡くなった日本人のための慰霊碑です。

中央の女性の像については、顔は戦争で受けた苦しみを、掌を見せているのは樺太も家族も失ったことを、足はその悲しみや苦しきから早く立ち上がることを表しています。

また、映画「樺太1945 年夏 氷雪の門」では、8月15日の玉音放送後も継続された、ソ連軍の樺太(現サハリン)侵攻がもたらした、真岡郵便電信局の女性電話交換手9人の最期を描いています。ガイドさんのこの話に、バスの中では、全員が言葉を失いました。

さて、6月議会には、緊急事態基本法の早期制定を求める意見書の反対討論を致しました。

国民の命を守るため、テロなどに対応出来るように、等も含まれていました。叩かれたら、叩き返すのでしょうか? 同じ土俵に立つてはいけません。平和は当たり前ではありません。

この稚内の氷雪の門や、沖繩のひめゆりの塔など、苦しみや悲しみの歴史から、やっとの思いで人々が掴んだ、尊い「平和」です。日本の北の果てに立ち、改めて、6月議会の反対討論は間違っていないと再確認し、実り多き研修を終えました。

平和への

思い燃え立つ樺太の

霞みて見ゆる

慰霊碑の前

作・本田ようこ

